

しめ縄もいろいろ

皆さんの家では玄関にしめ縄を飾っていますか。そのしめ縄は一年中飾られていますか？実は、一年中しめ縄を玄関に飾る風習は全国的には珍しく、三重県の中でも松阪市より南のエリアに限られていて、旅行で訪れた方が見ると不思議に思うそうです。

しめ縄の形にもいろいろな違いがあります。松阪市周辺に多い「松阪しめ縄」と伊勢市周辺に多いものがあります。明和町では二つの市と隣り合わせなので、どちらのタイプも混ざっていろいろな形を見ることができます。

伊勢市周辺に多いしめ縄には「蘇民将来子孫之門」や「笑門」と記された木札がつけられています。これは、次のような言い伝えが関連しているとされています。

スサノオノミコトが、南方の海への旅の途中に、蘇民将来・巨旦将来という名前の二人の兄弟のいる地に立ち寄りました。スサノオノミコトは一晚泊めてくれるよう二人に頼みました。弟の巨旦はとても裕福だったのですが、断りました。兄の蘇民は貧しかったのですが、親切に泊めてあげました。

スサノオノミコトは喜び、蘇民に「今後、この地に悪い病気が流行ったときには、蘇民将来の子孫であると言ひ、茅輪を腰に着けなさい。そうすれば病気を免がれるでしょう」と言って、その地を立ち去りました。蘇民は、スサノオノミコトの言葉に従ったところ、悪い病気が流行っても家族が健康に過ごせたそうです。

しめ縄には家族の健康への願いが込められています。自分の家では、どんなタイプのしめ縄なのか確認してみてね。



伊勢型

大根のように太く三つ編みで左側にし、前垂を付けて中心部を作るのが特徴。飾りとして、ウラジロ、ユズリハ、エセビ、ダイダイ、また和紙を長方形に切りシデとして下げました。こうした飾りには色々な意味が込められています



松阪しめ縄

兜のように角があり、扇を逆にしたような末広りの垂れが特徴

三重県総合博物館提供

明和町で見られる様々なしめ縄



松阪しめ縄 (金剛坂)



松阪しめ縄 (金剛坂)
やちまたひこのかみ やちまたひめのかみ くとがみ
 「八衛比古神・八衛比女神・久那戸神」の木札
 が付いたしめ縄 (竹川)



「笑門」の木札が付いたしめ縄 (西出)



家族に不幸があるまで、毎年取り替えずに重ねられるしめ縄 (上村)



門に取り付けられたしめ縄 (西出)